

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	利用者が住みなれた地域で尊厳を持ち笑顔で過ごしていただきたいという思いをこめたグループホーム花水木の名に擬えた理念を掲げ、ケアに反映させている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	開所したばかりで、地区の行事への参加は少ないが、小学生との交流、事業所で企画した祝賀会には多くの地域住民の方の参加があり交流を図った。また、ディサービス、地区の老人会の方との交流、図書館や理容室など近隣の社会資源の活用を行っている。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	地域包括支援センターの協力を得て認知症サポーターの開催を行った。また、面会に来られた方の相談にも気軽に応じている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月ごとに開催し、毎月の活動報告に加え外部評価への取り組み、施設の運営管理等について報告、参加者との活発な意見交換を行い、サービス向上に活かしている。		

鹿児島県 グループホーム花水木 2ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議のほかに地域の連絡協議会においても市町村と情報交換を行う機会がある。日頃から、協力関係の構築に取り組んでいる。</p>		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>開所時、ミーティングで第1回目の身体拘束に関する勉強会を行った。鍵をかけない自由な暮らしを支援する為、常に意識向上に努めている。目に見えない拘束（言葉や態度）についても意見交換を行っている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>開所時、ミーティングで第1回目の勉強会を行った。理解浸透や遵守に向けた取り組みに努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>開所時、ミーティングで第1回目の勉強会を行った。研修参加を心がけ、必要に応じ活用できるように取り組んでいる。</p>		

鹿児島県 グループホーム花水木 2ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約や解約については、利用者及び家族等に、十分な説明を行いで浮いを得ている。また、改訂の際は運営推進会議において協議、説明を行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議へ家族全員の参加を呼びかけ意見交換の場を設けている。日頃より利用者や家族の意見・要望に耳を傾けることを心がけ、ミーティング等で話し合いケアに反映するよう努めている。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎月1回のミーティングには管理者と法人から院長や事務長が参加し、職場の意見や提案を聞く機会を設けている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>スタッフ一人ひとりが個々の目標を掲げ、研修や資格取得に向けた支援体制を整え、個々の努力や実績に対し、評価する体制の構築に努めている。</p>		

鹿児島県 グループホーム花水木 2ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修には、各職員ができるだけ参加できるよう体制を整え、後日ミーティングで伝達講習を行い知識の共有化をはかり、サービス及び知識の向上に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>開所したばかりで、多くの機会はまだないが、連絡協議会に参加し交流や意見交換を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>十分な聞き取りを行い、心身の状態や本人の思いを把握するように努めて、職員との信頼関係を築きながら、不安の解消や要望への適切な対応に努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>本人との対話の機会をつくり、心身の状態や本人の思いを把握するように努め、職員との信頼関係を築きながら、不安の解消や要望への適切な対応に努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談時、本人や家族の置かれている状況や意向を適切に把握し、必要に応じて地域の居宅支援事業所や他の介護サービス事業所等を利用できる環境作りに努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>利用者の主体性を尊重したケアを行うように心がけている。また、利用者それぞれの本来の個性や能力が発揮できるような場面作りに努めている。</p>		

鹿児島県 グループホーム花水木 2ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>毎月「家族への手紙」を送り、日頃から家族の訪問時には利用者の様子をつぶさに伝えるよう努めている。ホーム内外での行事への参加を呼びかけ職員、家族がともに利用者を支えていく関係性の構築を図っている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている</p>	<p>サービス開始前に本人の生活習慣等の情報を得て、入居後の暮らしに役立てるようにしている特に馴染みの店など入居後も継続して利用していただいている</p>		
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>適切に把握し、利用者同士の関係がうまくいくように職員が調整役となって円滑な関係性が構築できるように支援している。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>開所したばかりで事例がない。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居にあたり、本人及び家族等にせいかつに対する意向や要望を聞き取りその把握に努めている。入居後は、関わりの中での会話や動作・表情などから、利用者それぞれの本意を推察し把握するよう心がけている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式のシートを一部利用した生活暦、暮らしの把握に努めている。また、日々の生活の中で得た情報も追加しながら職員間での情報の共有に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	基本的な1日の流れはあるが、園灯の体調やそれぞれの生活パターンを尊重し、利用者それぞれに合わせた適切な支援を行っている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者や家族の意向を日頃から把握し、介護計画に反映させている。また、利用者の担当職員を中心にカンファレンスを行い、各関係者の意見を踏まえ職員全員での計画作成を行っている。		

鹿児島県 グループホーム花水木 2ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別ケアの記録に加え、食事の摂取状況や排泄等を把握できるようにしている。また、連絡確認をし情報の共有を図っている。利用者それぞれの記録をもとに計画の見直し・評価を行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人や家族の要望や必要性に応じ、ホーム内で一緒に食事を摂っていただく、外出・外泊の支援等、行うことを説明してあり、取り組んでいく。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議に地域包括支援センターの職員や、行政、民生委員等に参加していただき、近隣地域の情報や介護支援に関する情報交換を行うなど協力関係を構築している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族が希望するかかりつけ医となっている。受診の送迎は看護師が同行し、安心して受診できるよう支援している。受診は家族の同伴も依頼しているが、できないときには、結果や状態をお伝えしている。		

鹿児島県 グループホーム花水木 2ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護師を配置しており、また、法人内の看護師が定期的に訪問し、相談、指導を行っている。また、介護職員に対し、状況・観察のポイントなど指導し、些細なことも看護師と連携を取り、対応している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>利用者の入院時には、サマリーの提供を行い、電話や訪問を行い、退院に向けて情報交換、カンファレンスを行った。各病院の医療連携室との相談員との情報交換も行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>当事業所における看取りケア説明書を作成し、その指針を本人、家族に説明し終末期の意向確認書急変時の対応希望書について承諾を得て、指針の統一化を図っている。また、状況に合わせ見直しを行っている。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>研修や緊急時対応マニュアルを整備し、協力医療機関と連携を図り、24時間協力体制にある。</p>		

鹿児島県 グループホーム花水木 2ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>開所し、5月に避難訓練を行った。避難経路の確認、消火器の取り扱いなど訓練を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々の利用者に合わせて声かけや対応の仕方について、ミーティングで取り上げ統一したケアが行えるよう努めている。利用者を人生の先輩として尊重し、プライドを傷つけないケアを徹底している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者に合わせた声かけや誘導を行い、その時々状態に合わせてながら本人の意向を考慮し、選択していただけるような場面作りを行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1日の基本スケジュールはあるものの、起床や就寝時間・食事のペースなど利用者それぞれの生活習慣に合わせ、柔軟な対応を心がけている。また、希望にあわせて散歩や買い物など個別に楽しんでいただけるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	整容に関しては、ご本人の意向に沿ったものを選んでいただき、好みに合わせた服装ができるよう支援している。化粧を希望される方は、職員が手伝い行っている。		

鹿児島県 グループホーム花水木 2ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	予めメニューを決めてあるが、利用者の嗜好に応じいつでも変更できるようにしている。旬の野菜やなじみの食材を取り入れ、利用者の体調を考慮しながら職員と一緒に下ごしらえや配膳を行っていただいている。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取状況や飲水量はおおよその量を職員全体で把握している。食欲の低下や病気等で何らかの支障がある場合は、食事をとる時間、食器の工夫など行っている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	口腔機能保持の大切さの説明を行い、食後は洗面所にてうがいや歯磨きをしていただいている。個々の能力に合わせた見守りや介助を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄パターンや生活リズムを把握し、排泄チェック表を活用しながら、尿意のない利用者にも時間を見計らい誘導し、トイレで排泄できるよう支援している。		

鹿児島県 グループホーム花水木 2ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	利用者の排泄パターンや生活リズムを把握し、状況に応じ、水分や繊維質の多い食事の提供など行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	その日の体調や気分に合わせて、気持ちよく入浴できるよう心がけている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者ひとり一人の夜間の様子や日中の状況を把握し、利用者がそれぞれにとって自然な睡眠が得られるようなアプローチを行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者個々の薬の説明書をファイルしており、職員はいつでも確認できる。薬の変更時には看護職員が、服用後の状態変化の観察に留意している。		

鹿児島県 グループホーム花水木 2ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	家事や野菜・花作り、梅干やちまき作りなど、利用者の趣味や経験を発揮できる環境作りや行事を行っている。季節の行事や外出の際には、利用者ひとり一人の意向を取り組んでいる。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	利用者それぞれの買い物や散歩・訪問・面会などその希望に応じて行っている。なじみの店や図書館の方など地域の方と連携を図っている。天気のよい日はドライブや戸外での食事を行っている。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者によっては、小額のお金を所持されている。また、事業所で利用者一人ひとりのお金を預かり、外出の際は自分でお金を持ち自ら支払いができるよう支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	入居時、利用者本人や家族へは自由に連絡を取っていただける旨を説明している。また、利用者が希望通りに電話や手紙を出せるよう支援している。		

鹿児島県 グループホーム花水木 2ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関やディールームには季節の花を飾り、玄関横の掲示板には、日ごろの様子、行事の写真を掲示し、利用者の家族や事業所を来訪された方に見ていただけるよう配慮している。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ディールームや食堂は一体的な作りになっているが、それぞれの利用者がお気に入りの場所で過ごせるよう配慮している。またディールームや廊下に椅子を置き自由にくつろげる環境づくりを行っている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の入居に際しては、なじみのある家具や、使い慣れた品があれば持参していただいている。入居後は利用者と話し合いながら、思い出のある品や写真などを飾り、自分らしい部屋作りを支援している。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	要所には手すりを設置しておりホーム全体のバリアフリー化を実施している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

鹿児島県 グループホーム花水木 2ユニット

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない